

フレームワーク開発特論

中鉢欣秀

産業技術大学院大学 (AIIT)

フレームワーク開発特論

中鉢欣秀

産業技術大学院大学 (AIIT)

第 1 章開発環境の導入

1 導入

2 学習目的・目標

3 授業の方法

4 演習課題

はじめに

フレームワーク開発特論

中鉢欣秀

導入

学習目的
・ 目標

授業の方法

演習課題

自己紹介

- `enpit/self_introduction.org` at master · ychubachi/enpit

シラバス

- フレームワーク開発特論

ハンドアウト

- `framework_development/framework_development.org` at master · ychubachi/framework_development

授業の計画

フレームワーク開発特論

中鉢欣秀

導入

学習目的
・目標

授業の方法

演習課題

スケジュールの調整

- 基本的にはシラバス通りに行うが、本年度から内容を刷新して新規に行う授業のため計画の変更がありえる
- Git は第 9 回に予定しているが、前倒しする予定

休講・補講

- 10/9（木）ビデオ視聴（休講）

1 導入

2 学習目的・目標

3 授業の方法

4 演習課題

この授業の目的

- 再利用可能なコンポーネント開発の概念的理解を行う
- Ruby の Gem を題材に，実装技術を学ぶ

フレームワーク開発特論

中鉢欣秀

導入

学習目的
・目標

授業の方法

演習課題

この授業の目標

- Ruby で実際にコーディングを行い，コンポーネントを開発できる
- Git/GitHub を用い，開発の効率の向上・成果物の公開などができる
- Ruby のテスト技術について学ぶ
- RubyGems に公開する方法

フレームワーク開発特論

中鉢欣秀

導入

学習目的
・目標

授業の方法

演習課題

1 導入

2 学習目的・目標

3 授業の方法

4 演習課題

英語の原典を読む

フレームワーク開発特論

中鉢欣秀

導入

学習目的
・目標

授業の方法

演習課題

- この授業で取り上げる資料は、開発コミュニティが公開している Web ページを中心に適宜紹介する
- エンジニアは英語の原典を読めなくてはならないので、英語のページを見ながら解説する

Git/GitHub の活用

フレームワーク開発特論

中鉢欣秀

導入

学習目的
・目標

授業の方法

演習課題

- GitHub のアカウントを作成しておくこと
- ソースコードを作成する課題は，GitHub にも登録してもらうことがある

仮想化環境の準備

フレームワーク開発特論

中鉢欣秀

導入

学習目的
・目標

授業の方法

演習課題

- Ruby の開発環境
 - enPiT の仮想環境を利用
- インストールの方法
 - 資料
 - `enpit/preparation.org` at master · ychubachi/enpit
 - 動画を参照
 - `http://youtu.be/kePqg8dCgJM`
 - 注意
 - 動画の視聴及び作業のために 2 時間程度かかる

仮想化環境の設定

フレームワーク開発特論

中鉢欣秀

導入

学習目的
・目標

授業の方法

演習課題

内容

- enPiT 用に作成した Vagrant の box ファイルの入手して実行できるようにする
- Vagrant のバージョンは最新版にしておく
- Vagrant のインストール後，次のコマンドでインストール可能

コマンド

```
vagrant init ychubachi/enpit
```

Memo

フレームワーク開発特論

中鉢欣秀

導入

学習目的
・目標

授業の方法

演習課題

- メジャーな Gem のコードをみる

1 導入

2 学習目的・目標

3 授業の方法

4 演習課題

課題 1-1

フレームワーク開発特論

中鉢欣秀

導入

学習目的
・目標

授業の方法

演習課題

開発環境の構築

- 演習用仮想化環境を用意する

作業内容

- VirtualBox と Vagrant をインストールする
 - Oracle VM VirtualBox
 - Vagrant

課題 1-2

フレームワーク開発特論

中鉢欣秀

導入

学習目的
・目標

授業の方法

演習課題

開発環境の構築

- enPiT 仮想化環境をインストールする

コマンド

```
vagrant init ychubachi/enpit  
vagrant up
```